

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科金属用接着材料 70921000
(高分子系ブラケット接着材及び歯面調整材 31750002)

アクリルボンド即時重合用

*【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

【構成】

性状	成分
液	MMA、2-HEMA、4-AETA、その他

【原理】

4-AETAなどのカルボキシル基が、被着面に作用することにより接着性を高める。

【使用目的又は効果】

金属製修復物又は装置の接着に用いる。

歯列矯正用ブラケット又はバンドの歯牙若しくは歯科修復物への合着又は接着に用いる。

【具体的用途】

- 1) 義歯床用アクリル系レジンを用いた金属床義歯の作製
- 2) 歯科汎用アクリル系レジンを用いた金属床義歯の修理
- 3) レジン前装冠の作製
- 4) 矯正装置の作製及び歯質（エナメル質）への接着などに用い、口腔内及び口腔外で使用。

*【使用方法等】

【使用方法】

1) 被着面処理（前処理）

①口腔外操作の場合

接着させようとする被着面を50~100 μ mのアルミナ粒子により約0.3~0.5MPaのゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、水洗、乾燥を行います。貴金属の場合は更に熱処理又はスズ電析処理を行います。

②口腔内操作の場合

接着させようとする被着面を歯科用研削材料（ダイヤモンドポイント等）で粗造化し、水洗、乾燥を行います。天然歯（エナメル質）に接着させる際には、接着させようとする被着面を歯科用エッチング材で処理を行います。

* 2) 本材の塗布

本材をディスポーザブルディッシュ等に適量採取し、被着面全体に小筆又はスポンジ小球等を用いて一層塗布します。

3) レジン材料の成形・重合

①義歯床用アクリル系レジン

義歯床の作製の場合は、使用する義歯床用アクリル系レジン

の添付文書等に従って行います。

②歯科汎用アクリル系レジン

義歯床の補修の場合は、使用する歯科汎用アクリル系レジン

の添付文書等に従って行います。

③歯冠用硬質レジン

歯冠用硬質レジン

の添付文書等に従って行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、使用する前に室温に戻してから使用すること。
- 2) 本材は揮発成分を含むため、採取後速やかに密栓すること。また、採取後、すみやかに使用すること。
- 3) 処置する際は排唾管又はバキューム等を作動させること。
- 4) 本材を塗布する歯科修復物の被着面は汚染されないよう注意すること。もし、本材を塗布する被着面が唾液・血液等

で汚染された場合は、例えばアルコール綿球等を用いて汚染された面を十分に清掃し、乾燥させ、再度本材を塗布すること。

5) 採取後の本材は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。

* 6) ディスポーザブルディッシュ等は感染防止のため、再使用しないこと。

*【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材はメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
- 5) 本材は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 7) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

*【その他の注意】

- 1) 本材が患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。本材が歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなるがありますが、これは一過性の現象で、2~3日で白変は消失します。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。
- 2) 本材に使用している成分を使用した類似品で、発赤、腫脹及びしびれの過敏症状が現れたことがあります。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 本材は、直射日光、火気等を避けて、冷蔵庫（1~10℃）で保管すること。
- 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【有効期間】

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY年 MM月 DD日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号 075-561-1112